



GGX Finance Summit 2025 を主催しました

GX 推進機構は、2025 年 11 月 5 日(水)、経済産業省とともに「GGX(Global GX) Finance Summit 2025」を主催しました。本会合では、世界の GX を巡る状況、トランジション・ファイナンスの推進やGX市場創造等について、国内外の有識者による議論が行われました。

開催概要

[日時]2025 年 11 月5日(水)10:00~16:45

[場所]ザ・キャピトルホテル東急

[主催]経済産業省、GX推進機構

[共催]WBCSD、TCFD コンソーシアム

本会合では、GX 推進機構理事長の筒井重信の開会挨拶を皮切りに、COO である重竹尚基、及び一橋大学伊藤邦夫 CFO 教育研究センター長／TCFD コンソーシアム会長による基調講演等や、以下の 4 つのパネルディスカッションが行われ、それぞれ、国内外の産業界、金融、政策当局者、国際団体を含む有識者による提言や議論が行われました。

- (1)カーボンニュートラルに向けた世界の潮流と日本の GX への期待(Global Advisory Council メンバーによるディスカッション)
- (2)日本のトランジション・ファイナンスにおける資金提供者の拡大
- (3)アジアにおけるトランジション・ファイナンスの拡大に向けて
- (4)GX 市場創造と開示

詳細は開催結果(<https://ggxf-summit.go.jp/result.html>)をご参照ください。

筒井理事長の開会挨拶では、国際情勢が変化する中でも、2050 年カーボンニュートラルに向け、ぶれることなく着実に歩みを進める重要性を強調し、本サミットを通じてトランジション・ファイナンスの理解を広め、官民の協働を一層進めたいと述べました。

重竹 COO は、基調講演において、変化する世界情勢の中でも、日本の GX の取組を緩めてはならないことを強調し、GX 推進は日本の競争優位性を築き経済成長を実現するチャンスであると訴えました。また、GX推進においては、サプライチェーンや業種横断、国際的な協力が不可欠であり、とりわけ重要な事項として、官民連携でリスクをシェアするブレンデッドファイナンスの活用、GX戦略地域制度の推進、「環境価値」が認められる市場の創造の3点を提示しました。



(当日の様子)

筒井理事長の開会挨拶の様様



重竹 COO 基調講演の様様



パネルディスカッション①「カーボンニュートラルに向けた世界の潮流と日本の GX への期待」の様様





パネルディスカッション②「日本のトランジション・ファイナンスにおける資金提供者の拡大」の様様



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、天達、清水、會田

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。